

少しずつ、日常生活を取り戻すために——
地域代表理事やエリアリーダーも奮闘！

コープ化粧品のサンプル配布と 3割引販売をいち早く実施

みやぎ生協

4月初旬、震災後に初めて開催された地域代表理事会議で、避難所生活を送る石巻地区の地域代表理事より、「化粧品などを早く割引販売してほしい」という要望が上がりました。

着の身着のまま避難した人たちは、その多くが基礎化粧品などを持たない状態で、お金も持ち合わせが少ない状況でした。新しく購入しようにも定価では高く、「ぜひ、コープでの割引を」との切実な訴えが多かったのです。

生協だからこそ得られる女性たちの声を大切にしようと、優先的に取り組み案が練られ、4月24日に「コープ化粧品3割引販売」を実施しました。



配布したサンプルを手に、笑顔がこぼれます。

事前告知として、各地域のコープ委員会では、日本生協連提供のコープ化粧品サンプル1,500個を来店者に手渡ししながら、3割引のお知らせを行ないました。

組合員理事も店舗に張り付きながら、ポスター作成や募金活動なども手掛けつつメンバー（組合員）に声を掛けます。そのかいあって、当日は全店合計で約550万円という、過去5年間で最高の供給を記録。メンバーの多くを占める女性の気持ちをくんだ、生協ならではの取り組みは大成功を収め、続く5月8日の母の日には早速第二弾が開催

されました。

「石巻の人びとの気持ちが、『頑張ろう』から『うるおいを取り戻そう』に変わってきているように感じられる局面で、このような取り組みができてうれしく思います（蛇田店 伊藤^{へびた}かつみ^{いとう}勝巳^{かつみ}店長）」など、各店舗からも喜びの声が寄せられています。

被災者支援や事業復興におけるニーズは、日々変化していきます。このニーズを生協ならではのネットワークで吸い上げ、対応していく機動力が今後ますます必要とされることを実感しています。

（日本生協連 東北支所 島田秀宏）



蛇田店では、^{やまと}大和^{やまと}きよ子^{きよこ}地域代表理事（左写真中央）を先頭に、各エリアリーダーがおすすめ活動を実施。化粧品の割引販売を待ちかねていたメンバーが続々と押し寄せました。